

※新聞記事のレイアウトを変更しております。

**【質問】**自身のレセプト（診療報酬明細書）が知らない間に統計に使われていると聞きました。どういうことでしょうか。（45歳会社員）

## レセプトの統計

**【回答】**インターネット

の普及や情報技術（IT）の進化にともない、大量の情報を集め処理することで事業に有効活用されています。これらの大量の情報を「ビッグデータ」と呼んでいます。医療に関わるビッグデータを利用し、医療の発展に寄与させようとの試みもなされています。

毎月保険者に提出されるレセプトには病名、検査、処方薬などが記載されており、大半は電子化されています。



病気が増え、流行しているのか？」などをすぐに割り出せるようになりました。

## ビッグデータを分析

### 個人情報の保護は厳重

ます。レセプトは医療のビッグデータです。数年前から、レセプト情報を国に集めてナショナルデータベースとして活用できるようになり、迅速でより正確な分析を行うことができます。例えば「今一番使われている薬は？」「どのような

しかしレセプトにはカルテと違い検査値などのデータがなく、治療による経過が不明です。「本当に治療や薬が役立っているのか」「薬の副作用はどうか」などはレセプトの統計からだけでは正確に知ることはできません。

保護です。医療に関する個人情報には非常に重要な問題であり、決して外に漏れるようなことがあってはいけません。そのため医師や看護師などの医療従事者には、守秘義務が課せられています。改正個人情報保護法の中でも厳しく守るよう律しています。

レセプトデータに各種検査結果や死亡診断書による死因究明を合わせ、日本人の健康に関する大きなナショナルヘルスデータベースを作ろうという試みがあります。

個人情報保護法は、名前から利用する時は、年齢などの個人が特定される部分は匿名加工し、個人が特定できない形で情報提供がなされています。加えて、これを統計処理し報告に利用するには国の許可が必要であり、情報が絶対に漏れないようなシステムや場所に限って行うこととされています。

このように、厳重な決まりの中で解析が行われていますので、個人情報が世間に広く知れ渡り、勝手に統計に使われるということはありません。今後いろんな医療情報が集積、分析され、医療の発展に寄与していくものと思われれます。皆さんのご理解をお願いします。（県医師会）

### 質問をどうぞ

この欄では県医師会が医療制度全般の質問にお答えします。質問希望の方は知りたい内容を分かりやすくまとめ、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「医療制度Q&A」係までお送りください。不明な点をお聞きする場合がありますので住所、氏名、年齢、性別、電話番号を明記してください。なお、直接本人への回答はいたしません。